

## 畜産物



# 兵庫県 和牛マスター(株)

## 『神戸ビーフを代表とする和牛の輸出』

### 【主な品目】

神戸ビーフ・和牛ビーフ

### 【主な輸出先国・地域】

米国・EU諸国・東南アジア諸国

### 【輸出取組の概要】

- ◆ 2017年4月に神戸ビーフを代表とする全国のブランド和牛の輸出基地として、姫路市に和牛マスター食肉センターとして開設。
- ◆ 2019年5月に米国、同年7月にEUへの輸出施設の認定を取得、現在45カ国に輸出。

### 【輸出実績】(平成29年度より輸出開始)

	輸出額(億円)	輸出量(t)	出荷時期
令和2年度	30.6	561.5	1~12月
令和元年度	17.3	233.0	
平成30年度	4.9	73.0	

### 【取り組む際に生じた課題】

- ・ 輸出先国での神戸ビーフを騙る偽物の氾濫による輸出先国の消費者の誤認
- ・ 対米輸出要件であると殺方法やアニマルウェルフェアへの対応
- ・ コロナ禍による輸出の低迷

### 【生じた課題への対応】

- ・ EUについては、GI制度、米国は商標登録の活用を基本とし、航空会社と連携した神戸ビーフの信頼性を高めるプロモーション事業を実施していく。
- ・ 食肉センターにおける対米基準に合致した対応がとれるよう施設設備の改善、及び従事者の取り扱い教育、生産者の協力支援を求めていく。
- ・ 輸出については、ロイン系のみでなく、セカンダリーカットにも取り組む。

### 【対応の結果】

- ・ 農水省が定期的に調査公表しているレポートでは、輸出先国での偽装を疑う件数が減少傾向にある。
- ・ 施設整備に係る経費負担が生じており、また、アニマルウェルフェア問題の鼻環問題については、生産者の協力が必要である。
- ・ 輸出については徐々に戻りつつある。

### 【今後の課題・展望】

- ・ 偽装問題については、遺伝子検査確認の導入等について検討する。
- ・ 輸出各国の要件に即応した体制を確立し、輸出拡大に向けた対応を行う。
- ・ 我が国の特技である「高品質な牛肉」の輸出に向けて多くのバリエーションを展開し、信頼される事業を行っていく。

### 【活用した支援・施策】

【ウェブサイト】 <https://wagyu-master.jp/>

【連絡先】 担当者名: 川久、TEL079-281-2941



全国各地から集まる競り  
この中から輸出も行われる



和牛マスターで加工された  
神戸ビーフ



EU、アメリカの基準に対応した加工場  
床からの高さを上げ跳ね  
上がりを防ぎ衛生的